

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【公開番号】特開 2020-28350 (P2020-28350A)
 【公開日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-008
 【出願番号】特願 2018-154440 (P2018-154440)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 4 日 (2020.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部と、

複数種類の演出態様のうちいずれかの演出態様により所定演出を実行可能である所定演出実行手段と、を備え、

前記所定演出の演出態様は、前記有利状態に制御されることの示唆を行う特別態様と、設定に関する示唆を行う特定態様とを含み、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出を複数回実行するときに前記特別態様の所定演出と前記特定態様の所定演出とのいずれも実行可能な場合に、複数回のうち第 1 回数において前記所定演出を実行するときよりも、複数回のうち前記第 1 回数よりも後の第 2 回数において前記所定演出を実行するときの方が高い割合で前記特別態様の所定演出を実行可能であり、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、所定のエラーが発生した場合は、該所定のエラーが発生したことを特定可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 1 の遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値（例えば、設定値 1 ～ 6）のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、

前記設定手段によって設定された設定値にもとづいて前記有利状態に関する制御を実行可能な遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御され、少なくとも前記可変表示を行うことが可能な可変表示部を含む情報表示部と、

複数種類の演出態様のうちいずれかの演出態様により所定演出を実行可能である所定演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120 が、可変表示中演出として、パターン PT - 1 ～ PT - 7 のいずれかに基づく設定示唆、またはパターン PT - 8 や PT - 9 に基づくリーチ予告を実行可能な部分）と、を備え、

前記所定演出の演出態様は、前記有利状態に制御されることの示唆を行う特別態様（例えば、特別パターンであるパターン PT - 8 またはパターン PT - 9 に基づくリーチ予告）と、設定に関する示唆を行う特定態様（例えば、特定パターンであるパターン PT - 1 ～ PT - 7 のいずれかに基づく設定示唆）とを含み、

前記所定演出実行手段は、前記所定演出を複数回実行するときに前記特別態様の所定演出と前記特定態様の所定演出とのいずれも実行可能な場合（例えば、実施例 2 として図 8 - 21 に示すように、ノーマルリーチやスーパーリーチの可変表示中）に、複数回のうち第 1 回数において前記所定演出を実行するときよりも、複数回のうち前記第 1 回数よりも後の第 2 回数において前記所定演出を実行するときの方が高い割合で前記特別態様の所定演出を実行可能であり（例えば、実施例 2 として図 8 - 22 に示すように、演出制御用 CPU 120 が、第 1 期間にて可変表示中演出を実行する場合よりも該第 1 期間よりも後の第 2 期間にて可変表示中演出を実行する場合の方が特別パターンであるパターン PT - 8 またはパターン PT - 9 に基づくリーチ予告を高い割合で実行する部分）、

特定条件が成立したときに前記設定手段による設定値の設定を行うことが可能な設定状態に移行し、所定のエラーが発生した場合は、該所定のエラーが発生したことを特定可能な特殊表示を前記情報表示部において行うことが可能である、

ことを特徴としている。

この特徴によれば、所定演出が繰り返し実行されるにつれて特別態様の所定演出が実行され易くなるため、一の遊技結果に近いタイミングで有利状態に対する期待感を高めることができる。